

平成27年度 学校経営計画書

石川県立工業高等学校

学校長 山田 勝裕

1 教育目標

- ① 工業技術者としての自覚を高め、創造力、実践力を伴う勤労意欲に満ちた人間を育成する。
- ② 自己の行動に責任が持て、広い視野に立って正しい判断ができる社会人を育成する。
- ③ 健康でたくましい体力と忍耐力を持って、試練に耐え問題を解決できる人間を育成する。
- ④ 自然環境や郷土について正しい理解ができ、地域社会に貢献できる人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 創立129年目を迎える日本有数の伝統と歴史を刻み、本県工業教育の基幹校としての役割を果たす中で、県内外の工業人の育成、また、伝統工芸の継承者の育成において、有為なる人材を輩出している。5つの工業系の学科と2つの工芸デザイン系の学科を有し、それぞれ特色のある教育活動を行っている。明るく活発で、好奇心旺盛な生徒が多く、活力のある校風である。
- ② 国の政策が日本経済の持ち直しの傾向をもたらし、株価の上昇や雇用情勢の好転など、社会に明るい兆しが見えてはいるが、複雑な国際情勢等に加え、少子高齢化の進行や産業構造の変化など、まだまだ先行き不透明な状況にある。このような中で、技術立国を支える工業教育の質の向上を図り、社会のニーズに応えるべき目的意識・勤労意欲に富んだ生徒の育成が必要であり、確かな進路実現が求められている。
- ③ 有能な産業人の輩出という社会的使命を担う本校には、企業が必要とするものづくり人材の育成が求められている。このような状況を鑑みるに、ものづくりの魅力や楽しさを校外に積極的にアピールすることや、地域交流、関係機関との連携の強化が一層必要とされている。今後とも、地元企業、大学等異校種間の連携を密にし、工業高校をPRし、本校のさらなる魅力アップに努める必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 学習意欲の高揚を図り、将来の工業技術者としての誇りと実践力を身につける。
- ② コミュニケーション能力を高め、規則正しい生活習慣の定着や規範意識の高揚を図り、社会に責任を果たせる人間に育てる。
- ③ 体力、忍耐力、精神力を高め、何事にも積極的に挑もうとするチャレンジ精神を育成する。
- ④ 専門教科並びに普通教科の学力向上を図り、職業意識と社会常識に加え、社会人基礎力を身につけた産業人に育てる。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 工業各科の専門性を活かすとともに、学年、部活動との連携を強化し、「タテ、ヨコ、ナナメ」の全校一丸となった指導体制を構築する。
- ② モチベーションの高い生徒の育成のため、生徒の主体的な学習意欲、活動意欲を引き出し、高めることに努める。
- ③ 本校の課題を共有化・明確化し、目標や方向性を共通理解するとともに、学校全体として課題解決に取り組む。
- ④ 地域連携、資格取得の奨励、進路状況の案内などを積極的に行い、工業高校の魅力のアピールし、将来のものづくり人材を目指す生徒をより多く育成する。

3 今年度の重点目標

- ① 県工学びのスタンダードやSPH事業を推進する中で、確かな学力の向上を図るとともに、教師の授業力向上に努める。
- ② 県工人間力スタンダードを掲げ、校訓による規範意識やマナーの向上等、将来の職業人としての意識の高い生徒の育成を目指す。
- ③ 就職、進学ともに確かな進路実現を図り、それに向けた資格取得や検定等に意欲的に取り組み、専門分野の技能向上に努める。
- ④ 部活動や学校行事等、課外活動への積極的な参加を促し、たくましい体力と精神力、豊かな心を育む。